年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 芸術 科目 音楽 I

 教 科:
 芸術
 科 目:
 音楽I
 単位数:
 2 単位

対象学年組:第 1学年 1組~ 8組

教科担当者: (1・2組:時田) (3・4組:時田) (5・6組:時田) (7・8組:時田)

使用教科書:(音楽 I Tutti+

教科 芸術 の目標:

【知識及び技能】 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱・器楽・創作で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形作る要素について知覚し、感受したこととの関わりを考えて表現する力を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む姿勢を養う。

科目 音楽 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や音楽の多様性について理解 するとともに、創意工夫を生かした音楽表現を するために必要な技能を身に付ける。	ることや、音楽を評価しながらよさや美しさを	

						表現					Π		配
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	歌	器	創	鑑賞	評価規準	知	思	態			
	オリエンテーション 校歌 【知識及び技能】 歌詞の意味について理解し、歌詞 を踏まえた歌唱ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の特徴を踏まえ、できる。 【学の表現の工夫ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学でに向かを関した上で、主体的に 活動に取り組むことができる。	・一年間の授業の流れや試験についての説明 ・歌詞の読解、歌唱。(感染症の状況によっては歌唱なし等の措置をとる) ・教材プリント	0			0	【知識及び技能】 歌詞の内容や曲の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 思現に関する要点を把握し、自身の声でどのように表現するか工夫が見られる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習した内容を理解し、曲の特徴を感受し、 主体的に表現しようとしている。	0	0	0	4		
	実技テスト		0					0	0	0	2		
1学期	器楽(ギター) 「音階・ソナタK.331によるギター 二重奏」 【知識及び技能】 ギターの構造や構え方、チューニングなどの基本的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 タブ譜の仕組みを理解し、ギターと関わらせて演奏することができる。 【学びに向かう力、人間性等】ペアやグループでコミュニケーションをとりながら、練習を進めることができる。	 基本奏法の理解(アポヤンド奏法、アルアイレ奏法) 難易度別の課題の設定(経験者にはアルペジオ奏法での(棒寒パートを指導) 教材 		0			【知識・技能】 ギターの基本を理解し、課題の曲を正しい奏法で演奏することができている。 【思考・判断・表現】 タブ譜を読んで、曲の構造を理解し、美しい音色になるような工夫が見られる。 【学びに向かう力、人間性等】 集中して取り組み、より良い音への探求をしようとしている。	0	0	0	8		
	実技テスト			0				0	0	0	2		
	楽譜の読み方・書き方 【知識及び技能】 楽譜を読む上での基本知識であるト 言記号を一音記号の音の読み方と主 要な音符の種類を理解することがで きる。 【思考力、判断力、表現力等】 音の長さの違いを理解し、様々なり ズムを読んだり書いたりすることが できる。 【学びに向かう力、人間性等】 基本知識を理解したとができる。 諸や記譜に取り組むことができる。	の長さと関わり ・拍子とリズム					【知識・技能】 ト音記号においての楽譜の読み方とへ音記号 においての楽譜の読み方を理解し、音の高さ と長さの違いに着目して正しく楽譜を読むこ と長さの違いに着 日して正しく楽譜を読むこ ととができている。 【思考・判断・表現】 学んだ知識に基づいて、楽譜に書き表した り、拍子やリズムの違いを意識して表そうと している。 【主体的に学習に取り組む態度】 楽譜の基礎的な読み方を理解した上で、実際 の楽譜での表し方について考えることができ ている。	0	0	0	8		
	小テスト							0	0	0	1		

2学期	リズム創作 【知識及び技能】 グループごとに正しい楽譜の書き方 によるリズムアンサンブルを作成で きる。 【思考力、判断力、表現力】 テーマに基づいた楽器やリズムを工 夫し、より良い表現を模索すること ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマを妻現するために、それぞれ がアイディアを出してグループで協 力することができる。 実技発表	・正しい記譜・リズムアンサンブルとしての曲の完成と表現の工夫・教材			0		【知識・技能】 ルールに沿った記譜によるリズムアンサンブルとして完成させている。 【思考・判断・表現】 テーマを表すために楽器の選び方や作品の構造など、様々な観点から表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループの一員として、誰かに任せるのではなく、それぞれが自らの役割を意識した活動をしようとしている。	0	0	0	12
	ギターコードの演奏 【知識及び技能】 それぞれのコードの運指を理解し、	・コードネームについて ・取り組みやすいコードの成り立 ちと運指 (G、C、D、Am)				(【知識・技能】 G、C、D、Amの運指を習得し、弾き表すことができる。	╀			2
	コードが変わる際にスムーズな変更ができる。 【思考力、判断力、表現力】 一定のテンポを維持し、曲に合わせたギターコードによる伴奏ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 周囲の音にも気を配り、一体感のある演奏を工夫することができる。	・ 囲に合わせた奏法・ 歌に合わせた奏法	0	0			【思考・判断・表現】 楽器の特性を生かし、曲に合わせた演奏をし ようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 テンポ感や強弱等の工夫も行い、より良い表 現の工夫をしようとする積極性が見られる。	0	0	0	8
	実技テスト			0				0	0	0	2
	ハンドベル合奏 【知識及び技能】 ハンドベルの奏法を理解し、自分の 担当のベルを適切に演奏することが できる。 【思考力、判断力、表現力】 曲想やテンポを感じ爽り、曲全体の 雰囲気に合わせた演奏をすることが できる。 【学びでの合奏を行うにあたって、 自分の担当の音に責任を持ち、集中し て取り組むことができる。	・テンポやリズムの確認・音色や曲の雰囲気の鑑賞・指揮の取り組み・教材		0		0	【知識・技能】 ハンドベルの特徴や奏法を理解し、正しいタイミングと美しい音色で演奏できる。 【思考・判断・表現】 ハンドベル独特の音色を味わい、曲の雰囲気を感じ取りながら、適した奏法の工夫が見られる。 【主体的に学習に取り組む態度】 一体感のある演奏をするために自らの役割を意識し、意欲的に取り組むことができる。	0		0	
	実技発表			0		0		0	0	0	1
3 学	器楽合奏 【知識及び技能】 曲の中での自分のパートの役割を理解し、での自分のので調整した演奏をすることができる。 【思考力、判断力、表現力】 曲全体の仕上がりを想集上が必要が考え、実践することができる。 【学びに向かう力、バーとリズムを対していまったが、周囲とコニとができる。 とりながら活動することができる。			0			【知識・技能】 曲やパートの特徴を理解し、その特徴を踏まえた演奏をすることができる。 【思考・判断・表現】 正しいリズムやテンポ感など、全体の仕上がりに欠かせない要素を踏まえ、表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲の完成をイメージし、目的意識を持ち、集中して取り組もうとしている。	0	0	0	8
	実技発表										1
	主要な作曲家とその作品 【知識及び技能】 主にバロック期からロマン派にかけての作曲家について、その要点を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 それぞれの作曲家の作品を等で表現 との特徴を感じ取り、文章等で表現 することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に込められた思の良さ を購入ったとができる。	・西洋音楽史における一般的にも よく知られる作曲家について ・作品の鑑賞とその特徴 ・使用楽器 ・カークシート				0	【知識・技能】 西洋音楽史における作曲家について理解を深め、それぞれの作曲家の作品の特徴を理解することができる。 【思考・判断・表現】 作品の特徴や作曲家について理解した上で、他との違いを感じ取ったり、作品での表現について考えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作品に込められた思いや、取り込まれている技法に気づこうとする積極性が見られる。	0	0	0	4
	小テスト					0					1
											合 計 70